

平成29年度 西宮市北部地域防災リーダー研修 ～昭和42年 六甲山系豪雨災害50年行事～

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

近年多発化する自然災害。今後の土砂災害など自然災害の軽減に向けて、行政による取り組みはもとより地域における防災力も高める必要があります。昭和42年六甲山系豪雨災害50年行事の一環として、西宮市北部防災リーダー研修が開催され、六甲砂防事務所は出前講座を行いました。

概要

日 時：平成29年 8月20日（日） 10:00～11:30

場 所：西宮市立塩瀬公民館

主 催：西宮市 参加人数：約60名

講演の様子



六甲山系では土砂災害からの被害防止に向け様々な対策を行っていますが、近年の降雨状況からは必ずしも安全とは言えません。いつ起こるかわからない災害に備え防災意識の向上に向けた取り組みの必要性が高まっています。

六甲砂防事務所では、今回開催された西宮市北部地域防災リーダー研修において、「六甲山地における土砂災害と対策」というテーマで講演を行いました。また、過去に起きた災害の写真や、六甲砂防事務所の事業を紹介したパネルの展示も合わせて行いました。

会場1階のホールでは砂防堰堤が実際にどのようにして効果を発揮するかを、土石流模型実験装置を使ってわかりやすく説明し、合わせてパネルを使い土砂災害の起きる前兆現象や逃げ方についても説明しました。

今回の出前講座を通じて、気象情報や避難勧告等の情報に注意し、早めの避難が大切であることと、土砂災害の実態や六甲砂防事務所による砂防事業の取り組みとその効果について確認して頂く事ができました。

写真パネルによる展示の様子



～参加者の声～

- ・砂防堰堤、グリーンベルト等の砂防施設があることの意味がよく分かった。
- ・土石流が起こる様子が具体的で分かりやすかった。
- ・このような研修を適度な頻度で開催し、小中学生を対象にも教育の一環として開催すべきだと思う。

土石流模型実験装置を使った解説



【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15 TEL：078-851-0535

